



ホタル舞うまち、芝山。



芝山ホタル夏祭実行委員会
委員長
飯高 稔雄 さん

「ホタルが住める環境の残る芝山町を
好きになってもraitたい」

芝山ホタル夏祭 実行委員長インタビュー

芝山ホタル夏祭の企画・運営をしているのが、芝山ホタルの会もメンバーになっている芝山ホタル夏祭実行委員会。芝山ホタル夏祭実行委員会委員長で芝山町観光協会会長でもある飯高稔雄さんに、芝山ホタル夏祭への思いを聞きました。

芝山ホタル夏祭実行委員会は芝山ホタルの会のほか、商工会、芝山金曜元気市組合、航空科学博物館、芝山お米ネットワーク、そして町観光協会が委員として所属しており、芝山ホタル夏祭の運営や出店などに関わっています。

今年の芝山ホタル夏祭はさまざまな団体が出店し、ステージイベントも充実しているのですが、多くの方に足を運んでいただき、夏の思い出を作ってほしいと思います。会場の航空科学博物館はバスの便も良いので、ぜひ遠方からも来ていただき楽しんでほしいです。外国の方にも日本のホタルを見てほしいですが、

言葉が分からないため対応できないのが課題。受け入れ態勢を整えられればいいですね。

現在の観光は、「見る」だけでなく「体験」するものが人気ですが、自らホタルの放流を行うというのは、都会では味わえない素晴らしい体験です。そしてできることなら、放流する皆さんはホタルの生きたまで学習してもらい、ホタルが住める環境にまで思考を巡らせてもらいたいです。そして、ホタルが住める環境が残っている芝山町を好きになってもraitたらうれしいです。

最後に、町民の皆さんにお願いしたいことがあります。地元の方は意識したことがないかもしれませんが、ホタルが舞い飛ぶ芝山町の環境は、誇るべき町の財産で、後世に伝えていかなければならない素晴らしいものです。このように、町民では気付かないけれど外部からみれば魅力的なものが、まだまだ町内にはあります。ぜひ町の魅力を町民の皆さんで再発見していただき、芝山町に誇りを持ってもらいたいです。

第15回 芝山ホタル夏祭 7月22日(土) 開催

会場 航空科学博物館・芝山水辺の里

午後3時～ いろいろな出店が並びます。

午後3時～ アンパンマンショーなどのステージイベント
素敵な商品が当たる大抽選会

午後7時40分～ ホタル配布・放流準備・水辺の里へ移動

午後8時～ ホタルの放流(水辺の里)

- ・詳しいスケジュールは町ホームページをご覧ください。
- ・当日の天候などにより、内容を変更する場合があります。お出掛け前にまちづくり課産業振興係へお問い合わせください。

問 まちづくり課産業振興係 ☎77-3918





芝山ホタルの会 活動の記録

芝山ホタルの会では、年間を通じてホタルを育てるため活動を行っています。ここではその内容をご紹介します。

右上：休耕田の草刈り
 右：ホタルの幼虫のエサ。左がカワニナ、右がタニシ
 中央：ホタル捕獲ケース
 上：ホタルと草をセットにしてパック詰め



ホタルと共に過ごす1年

芝山ホタルの会では前述のとおり、休耕田を利用してホタルを飼育しています。

草が伸び始める3月位から6月まで、飼育場所の草刈りを月1回行います。これはホタルを捕獲しやすい環境を作るとともに、ホタルの成育のための水管理も兼ねています。またホタルの幼虫のエサとなるカワニナやタニシを捕ってきてもくこともしています。

7月に入ると、ホタルの捕獲が始まります。虫取りあみで捕り捕獲ケースに入れて、ホタル夏祭当日まで育てます。約1000匹を放流するため、1人で300匹も捕まえる会員もいるそうです。捕獲ケースの中でホタルが卵を産むと、水を張ったトレイに落ちるようになっており、来年のため休耕田に卵を戻します。

ホタル捕獲はホタル夏祭前日まで続けられ、当日、1匹1匹パックの中に納められます。約1000匹もいるため、作業も一苦労とのこと。

ホタル夏祭が終わった後も冬になるまで草刈りを行い、ホタル

ルが住みやすい環境づくりを行います。

ホタルが飛び交う環境を作り、ホタルが自然発生する地域を取り戻すため活動している芝山ホタルの会ですが、現在の課題は若い後継者を育てること。ある会員の方は「ホタルに興味を持つと、例えばホタルの住む環境が気になったりと、普段は気付かなかったものが見えてきたり、違った見方で見るようになります。また、今まで出会うことの無かった仲間とも出会えます。ホタルと共に住めるまちづくりを目指し、一緒に活動してほしい」と話してくれました。

ホタルを育てる仲間を募集中

芝山ホタルの会では、一緒に活動してくれる方を募っています。活動に興味がある方は、役場まちづくり課産業振興係までご連絡ください。

問 まちづくり課産業振興係 ☎ 77-3918